

「企業の社会的責任(CSR)」についてのアンケート調査

平成 17 年 2 月

会員企業代表者 各 位

東京商工会議所 産業政策部

「企業の社会的責任(CSR)」についてのアンケート調査 に対するご協力のお願について

本調査では、企業の社会的責任を「法令順守に基づいた事業活動により収益を確保することにとどまらず、地球環境の保全や(地域)社会とそのメンバーである人間への貢献とのバランスにも配慮すること等も企業が負うべき責任であり、同時にその内容を事業上の関係者に説明する必要があるとの考え方」とします。

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は東京商工会議所の業務に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

数年前、中小企業から購入した部品に有害物質が含まれていたために、その部品を用いた製品を海外に輸出した日本企業が社会的責任を問われました。その輸出企業はこの出来事を契機に部品等の発注先企業に対して有害物質の使用の有無を調査するようになりました。このことが示すように、「企業の社会的責任(CSRは Corporate Social Responsibility の略)」が（特に、下請企業を中心に）中小企業にとっても身近な問題になりつつあります。こうした中で、昨年 6 月には I S O（国際標準化機構）が企業を始めとして様々な組織の社会的責任への取り組みについての指針文書を作成することを決めました。これまで、日本では大企業を中心に C S R への取り組みが進んできましたが、今後全ての規模・業種の企業に社会的責任への本格的な取り組みが一段と求められる可能性があります。これに伴い、「人（人材）」「もの（設備）」「金（資金）」「情報」といった経営資源を十分に保有していない企業にとっては、経営を行う上で大きな影響が及ぶことが懸念されます。

そこで、東京商工会議所では、会員企業の皆様の C S R へのお取り組みの状況やお考え等をうかがい、I S O での C S R の指針文書の作成に対する会議所としての意見表明と今後の皆様の C S R 推進のための支援策等の検討を行うにあたっての基礎的な資料とするために本調査を実施することといたしました。

つきましては、ご多忙中まことに恐縮ではございますが、本調査の趣旨をご理解いただき、同時に貴社の強みと課題についての確認をしていただく意味からも、ご協力を賜りますよう切にお願い申し上げます。

なお、本調査の集計結果は当会議所のホームページ、東商新聞等を通じて公表する予定ですが、調査票に記入された内容については秘密を守り、統計以外の目的では使用することはありません。念のため申し添えておきます。

敬具

記入上の お願い	1. 回答を本調査票にご記入の上、 <u>2月28日（月）までに</u> 、同封の返信用封筒にてご投函下さいますようお願い申し上げます。 2. <u>ご記入はなるべく経営者ご本人様</u> にお願いいたします。
お問い合わせ先	東京商工会議所 産業政策部（ ふじの あんどう 藤野・安藤） 住 所：東京都千代田区丸の内 3－2－2 電 話：03-3283-7628 または 7631（直通） 電子メール： sansei@tokyo-cci.or.jp

貴社の名称		記入者 ご芳名	(役職名)
ご住所	(〒) 東京都 区	電話番号	

[I] 貴社の概要について

(1) 主な業種（売上高の最も多い業種の番号を 1つだけ 選び、○印をつけて下さい）

- 1 鉱業
- 2 建設業
- 3 素材系製造業（木材・木製品(家具を除く)、パルプ・紙・紙加工品、窯業・土石、鉄鋼、非鉄金属、繊維(衣服、その他の繊維製品を除く)）
- 4 化学系製造業（化学工業、石油製品・石炭製品、プラスチック製品、ゴム製品）
- 5 食品系製造業（食料品、飲料・たばこ・飼料）
- 6 加工・組立系製造業（衣服、その他の繊維製品、家具・装備品、印刷・同関連、なめし皮・同製品・毛皮、金属製品、一般機械器具、電気機械器具、情報通信機械器具、電子部品・デバイス、輸送用機械器具、精密機械器具、その他の製造業）
- 7 電気・ガス・熱供給・水道
- 8 情報通信(通信・放送・情報サービス・インターネット付随サービス)
- 9 運輸（道路貨物運送、道路旅客運送(バス・タクシー等)、水運、倉庫）
- 10 卸売
- 11 小売
- 12 金融・保険
- 13 不動産
- 14 飲食店
- 15 宿泊業
- 16 医療・福祉
- 17 教育、学習支援
- 18 サービス（専門サービス、洗濯・理美容、浴場、その他の生活関連サービス、娯楽、廃棄物処理、自動車・機械の整備・修理、物品賃貸、その他の事業サービス(広告業を含む)）

(2) 従業員数

（常用パート人数を含めてください）

人

(3) 資本金（当てはまる番号に 1つだけ○印 をつけて下さい）

- | | | |
|---------------|---------------|---------------|
| ① 1千万円超2千万円以下 | ② 2千万円超4千万円以下 | ③ 4千万円超5千万円以下 |
| ④ 5千万円超1億円以下 | ⑤ 1億円超3億円以下 | ⑥ 3億円超 |

(4) 一番最近のご決算での経常損益（貴社の実情に最も近いもの）の番号に 1つだけ○印 をつけて下さい。

- | | | |
|------|--------------|------|
| ① 黒字 | ② 収支均衡（トントン） | ③ 赤字 |
|------|--------------|------|

(5) 貴社の主な販売先について以下の①～⑥の内、貴社に該当する番号に 1つだけ○印 をつけて下さい。

- ① 国内の株式公開企業（1社に限らず） に売上高の50%超を依存
- ② 国内の株式非公開企業 に売上高の50%超を依存
- ③ 国内の一般消費者 に売上高の50%超を依存
- ④ 国内の官公庁・公的機関 に売上高の50%超を依存
- ⑤ 海外（の企業、一般消費者、官公庁・公的機関） に売上高の50%超を依存
- ⑥ 上記の①～⑤以外

[II] 企業の社会的責任（CSR）へのご認識・お取り組み・支援策について

本調査では、**企業の社会的責任（CSR）**を「**法令順守**に基づいた事業活動により**収益を確保**することにとどまらず、**地球環境の保全**や**（地域）社会とそのメンバーである人間への貢献**とのバランスにも配慮すること等も企業が負うべき責任であり、同時にその**内容を事業上の関係者に説明する必要がある**との考え方」とします。

問1. 貴社の「**企業の社会的責任（CSR）**」という言葉についてのご認識についてうかがいます。以下の選択肢の中から、貴社の実情に最も近いものの番号に**1つだけ○印**をつけて下さい。

1. 知らなかった
2. 見聞きしたことはあるが、内容についてはあまり知らない
3. 見聞きしたことがあり、内容については大まかに知っている
4. 見聞きしたことがあり、内容についても詳しく知っている

問2. 下記の項目は、広い意味で「企業の社会的責任（CSR）」に含まれる可能性のある項目です。

(1)貴社にとってのCSRには、どのような項目が含まれますか。また、**(2)貴社の社是・社訓・経営理念等に含まれるもの**がありますか。以下の内、含まれるものを選択肢から選び、(1)、(2)それぞれの回答欄の番号に**いくつでも○印**をつけて下さい。

	「企業の社会的責任（CSR）」に含まれる可能性のある項目	回答欄（○印はいくつでも）	
		(1) 貴社にとって のCSR	(2)社是・社 訓・経営理念に 含まれるもの
①	収益をあげ、税金を納めること	1	1
②	株主やオーナーに配当すること	2	2
③	より良い製・商品、サービスを提供すること	3	3
④	人体に有害な製・商品、サービスを提供しないこと	4	4
⑤	新たな技術や知識を生み出すこと	5	5
⑥	雇用を創出すること	6	6
⑦	人権を尊重・保護すること	7	7
⑧	法令を順守し、倫理的行動をとること	8	8
⑨	フィランソロピーやメセナ活動を通じて、社会に貢献すること（注）	9	9
⑩	地球環境の保護に貢献すること	10	10
⑪	貴社・貴方が所在する地域社会の発展に寄与すること	11	11
⑫	世界各地の貧困や紛争の解決に貢献すること	12	12

（注）**フィランソロピー**とは、寄付やボランティア等の社会貢献のこと。**メセナ**とは、社会貢献の一環として企業が行う芸術・文化への支援のこと（広義には、企業が行う社会貢献活動を指す場合もあります）。

問3. 貴社にとって、「**企業の社会的責任（CSR）**」は**どういう意味を持っていますか**。以下の内、貴社に当てはまるものを下から選び回答欄の番号に**2つまで○印**をつけて下さい。

	「企業の社会的責任（CSR）」の意味	回答欄（○印は2つまで）
①	特に意味はない	1
②	利益が出た際の社会に対する 利益還元 である	2
③	社会に存在する企業として、 払うべきコスト である	3
④	将来の利益を生み出す投資 である	4
⑤	経営の中核に位置付けるべき 重要課題 である	5
⑥	その他(具体的に)	6

問4. 貴社の「法令順守」へのお取り組みの状況に関する以下の①～⑥の項目について、「はい」「いいえ」のどちらかに○印をつけて下さい。

	「法令順守」へのお取り組みの状況	回答欄 (どちらかに○印)	
①	事業活動上順守すべき法規制の現状を「正確に」把握している	はい	いいえ
②	法令順守の基本方針や具体的なマニュアルを作成している	はい	いいえ
③	法務の担当部署または担当役員（経営者自身を含む）を設置している	はい	いいえ
④	法令順守への従業員の取り組みを人事考課で評価している	はい	いいえ
⑤	順法精神に則り自主的に法規制を上回る倫理的な経営を行っている	はい	いいえ
⑥	上記の①～⑤のような取り組みを行ってはいないものの、「法令順守」に関する問題が発生した場合には、その都度、経営者・役員、あるいは問題が発生した部署の従業員が対応している	はい	いいえ

問5. 以下の選択肢の中から、貴社が(1)現在、重視している事業上の関係者と(2)今後、重要性を増すと考えられる事業上の関係者を各々5つまで選び、回答欄の番号に○印をつけて下さい。

	事業上の関係者 (以下の①～⑫の選択肢の順序は 乱数により決めました)	回答欄（それぞれ○印は5つまで）	
		(1)現在、重視している 関係者	(2)今後、重要性を増す と考えられる関係者
①	人権保護団体	1	1
②	仕入先・調達先(運輸・流通等サービスの発注先を含む)	2	2
③	マスメディア(新聞社、放送局等)	3	3
④	従業員	4	4
⑤	消費者団体	5	5
⑥	環境保護団体	6	6
⑦	株主	7	7
⑧	販売先・納入先	8	8
⑨	取引金融機関	9	9
⑩	官公庁・公的機関	10	10
⑪	地元の住民・社会	11	11
⑫	経済団体（商工会議所・商店会等）	12	12

問6. 以下の①～⑬の選択肢の中に、貴社が事業上の関係者への説明や責任の履行のために (1)「現在、重視しているもの」、(2)「今後、新たに必要になると思われるもの」があれば、それぞれについて、回答欄の番号に5つまで○印をつけて下さい。

	「事業上の関係者への説明や責任の履行」 についてのお取り組み	回答欄(各々○印は5つまで)	
		(1)現在、 重視している	(2)新たに 必要なもの
①	ホームページや朝礼等での事業上の関係者への経営方針の周知徹底	1	1
②	株主への配当原資としての利益の追求	2	2
③	社長の選任、報酬額決定の手続き・過程の明確化・透明化	3	3
④	非常勤役員や経済団体といった社外の意見を経営に導入・反映すること	4	4
⑤	従業員への業績・決算関係書類等の説明・開示	5	5
⑥	事故、不祥事等への体制整備(予防策・発生時の対策の策定)	6	6
⑦	上記⑥(事故、不祥事への対応策)を継続的に見直すこと	7	7
⑧	上記⑥(事故、不祥事への対応策)を本業の改善に活用すること	8	8
⑨	金融機関・社債権者への業績・決算関係書類等の説明・開示	9	9
⑩	金融機関・社債権者以外の債権者への業績等の説明・開示	10	10
⑪	販売先への業績・決算関係書類等の説明・開示	11	11
⑫	仕入先・調達先(運輸・流通サービスの発注先を含む)が行っている環境・安全・衛生対策、社会・従業員等への貢献に関する情報の収集	12	12
⑬	事業活動・運営についての消費者、環境保護、人権団体等との対話	13	13

問7. 「環境保全」に関する以下の①～⑪の取り組みの中で、貴社が実行しているものを重要性の高い順に3つまで選り回答欄の番号に○印をつけて下さい。

	「環境保全」に関するお取り組み	回答欄 (○印は3つまで)
①	環境保全に関する基本方針の策定(例:「環境に優しい製品を製造する」など)	1
②	環境保全に関する従業員教育(例:上記①の基本方針の説明や節電の徹底など)	2
③	環境関連の認証(例:ISO14000シリーズなど)の取得	3
④	省資源・省エネルギー・リサイクル	4
⑤	製・商品、サービスの環境アセスメント(事業実施の環境への影響を評価すること)	5
⑥	グリーン購入・グリーン調達(環境への負荷が少ない原材料・部品等の購入・調達)	6
⑦	グリーン購入・グリーン調達の方針を仕入先・調達先(運輸・流通サービスの発注先を含む)に対して開示・説明すること	7
⑧	グリーン購入・グリーン調達の方針・実績を販売先に対して開示・説明すること	8
⑨	環境報告書・環境会計(廃棄物等の排出(環境への負荷)や植林(環境への貢献)等を社外へ開示する書類)	9
⑩	環境に関する社会貢献活動(例:近隣河川の清掃等)	10
⑪	その他(具体的に)	11

問 8. 「従業員の生活・教育・人権」に関する以下の①～⑨の取り組みの中で、貴社が実行しているものを重要性の高い順に3つまで選び回答欄の番号に○印をつけて下さい。

	「従業員の教育・生活・人権等」に関する取り組み	回答欄(○印は3つまで)
①	勤務時間の適正な運用	1
②	育児・介護の支援(休暇制度の整備等)	2
③	勤務体制の柔軟性(フレックスタイム、短時間労働等)	3
④	従業員の能力開発のための社内研修制度	4
⑤	従業員の能力・実績を評価する際に透明性を確保すること	5
⑥	従業員一人一人にその能力に応じた活躍の機会を与えること	6
⑦	職場の安全や衛生の確保(事業上の安全教育、社内での禁煙等)	7
⑧	人権の尊重(セクシュアルハラスメントの防止等)	8
⑨	その他(具体的に)	9

問 9. 「地域や社会への貢献・責任」に関する以下の①～⑫の取り組みの中で、貴社が実行しているものを重要性の高い順に3つまで選び回答欄の番号に○印をつけて下さい。

	「地域や社会への貢献・責任」に関する取り組み	回答欄(○印は3つまで)
①	従業員として地元住民を雇用すること	1
②	顧客の満足度の高い製・商品、サービスの提供	2
③	商工会議所・商店会など経済団体の活動への参加	3
④	公的活動(交通安全運動、災害救助等)への協力	4
⑤	近隣の清掃や祭りなど、地域活動への参加(資金負担なし)	5
⑥	伝統行事、文化・芸術活動、スポーツ等の後援(資金負担なし)	6
⑦	災害、地域活動、伝統行事、文化活動、スポーツへの資金の寄付	7
⑧	企業の創設を希望・計画している者への支援(助言、資金等)	8
⑨	従業員のボランティア活動への参加の奨励・支援	9
⑩	政治家や官公庁・自治体公務員等との癒着の防止	1 0
⑪	反社会的勢力(総会屋・暴力団等)との関係の遮断	1 1
⑫	その他(具体的に)	1 2

問 1 0. (1)法令順守、(2)事業上の関係者への説明や責任の履行、(3)環境保全、(4)従業員の教育・生活・人権等への配慮、(5)地域や社会への貢献・責任、(6)(1)から(5)の総合的な取り組みとしての企業の社会的責任(CSR)全般の6項目について、貴社のお取り組みに対する自己評価を以下の回答欄の選択肢の中からそれぞれ1つだけ選び、その番号に○印をつけて下さい。

	お取り組みの内容	回答欄(各番号について○印は1つだけ)				
		自己評価				
		十分 行えて いる	大体 行えて いる	あまり 行えて ない	全く 行えて ない	何とも 言えない
(1)	法令順守	1	2	3	4	5
(2)	事業上の関係者への説明や責任の履行	1	2	3	4	5
(3)	環境保全	1	2	3	4	5
(4)	従業員の教育・生活・人権等への配慮	1	2	3	4	5
(5)	地域や社会への貢献・責任の履行	1	2	3	4	5
(6)	企業の社会的責任(CSR)全般 ((1)から(5)の総合的な取り組み)	1 (問 11 へ)	2 (問 11 へ)	3 (問 13 へ)	4 (問 13 へ)	5 (問 14 へ)

- ・問11, 12は、前問10の「(6)企業の社会的責任(CSR)全般」について、
「1. 十分行えている」、または「2. 大体行えている」とご回答いただいた方にお尋ねします。
・前問10の(6)で「3. あまり行えていない」、「4. 全く行えていない」とご回答いただいた方は問13へ、「5. 何とも言えない」とご回答いただいた方は問14へお進み下さい。

問11. 貴社が企業の社会的責任(CSR)への取り組みを行う目的・理由の中で重視しているものを以下の選択肢の中から3つまで選び、その番号に○印をつけて下さい。

1. 経営理念等に社会的責任の履行が含まれている
2. 企業イメージの向上
3. 従業員の満足度の向上
4. 競合する同業者がCSRに取り組んでいるので対抗策として
5. コストの削減
6. 売り上げの増加
7. 官公庁・公的機関からの期待・要請
8. 販売先・納入先からの期待・要請
9. 消費者からの期待・要請
10. 取引金融機関・社債権者からの期待・要請
11. 公的な支援策(減税、補助金等)の利用
12. その他(具体的に_____)

問12. 貴社が企業の社会的責任(CSR)に取り組んだことによる(1)メリットと(2)デメリットの内、主要なものを以下の選択肢の中から3つまで選び、その番号をそれぞれの回答欄に記入して下さい。

回答欄 (各3つまで)	企業の社会的責任(CSR) に取り組んだことによる	(1) <u>メリット</u>				回答後、 問14へ
		(2) <u>デメリット</u>				
選 択 肢						
1. コストの削減		9. コストの増加				
2. 売り上げ数量の増加		10. 売り上げ数量の減少				
3. 売り上げ単価の上昇		11. 売り上げ単価の低下				
4. 企業イメージの向上		12. 人手の不足				
5. 従業員の満足度の向上		13. 従業員の満足度の低下(例:労働時間の増加による)				
6. 官公庁・公的機関との関係強化		14. 経営・事業活動の自由度の低下				
7. 販売先・納入先との関係強化		15. その他のメリット(具体的に_____)				
8. 取引金融機関・社債権者との関係強化		16. その他のデメリット(具体的に_____)				

問13は、問10の「(6)企業の社会的責任(CSR)全般」について「3. あまり行えてない」、または「4. 全く行えてない」とご回答いただいた方にお尋ねします。

問13. 貴社が企業の社会的責任(CSR)への取り組みを行えてない理由の内、主要なものを以下の選択肢の中から3つまで選び、その番号に○印を付けて下さい。

1. 今まで「企業の社会的責任(CSR)」という概念を知らなかった
2. コストの増加が予想される
3. 人手が足りない
4. 資金が不足している
5. 自社の事業には取り組むメリットがない
6. 周りの企業や競争相手も取り組んでいない
7. 取り組むメリットが分からない
8. 販売先・納入先から期待・要請されていない
9. 消費者から期待・要請されていない
10. 官公庁・公的機関から期待・要請されていない
11. 取引金融機関等から期待・要請されていない
12. その他(具体的に_____)

問14は全ての方にお尋ねします。

問14. 企業の社会的責任（CSR）には様々な取り組みがあります（例：法令順守、事業上の関係者への説明や責任の履行、環境保全、従業員の教育・生活・人権等への配慮、地域や社会への貢献・責任の履行）。以下の支援策について、貴社が（従来以上に）本格的に企業の社会的責任（CSR）に取り組むために必要と思う度合いを回答欄の選択肢の中から1つだけ選び、その番号に○印をつけて下さい。

	企業の社会的責任（CSR） の取り組みに対する支援策	回答欄（各番号の選択肢毎に○印は1つだけ）				
		必要と思う度合い				
		不可欠	必要性が 高い	必要性は 低い	不要	何とも 言えない
①	様々な取り組みを行うと利用できる 減税措置	1	2	3	4	5
②	様々な取り組みに対する 補助金	1	2	3	4	5
③	資金調達上の優遇 （CSR関連の制度融資等）	1	2	3	4	5
④	官公庁・公的機関、経済団体等からの 情報提供 （取り組み方やそのヒント等）	1	2	3	4	5
⑤	官公庁・公的機関、経済団体等による 表彰制度 と表彰を通じた企業のPR	1	2	3	4	5
⑥	積極的に取り組んでいる企業をメディアで紹介・PRすること	1	2	3	4	5
⑦	販売先から 価格面等、取引上の優遇 を受けられること	1	2	3	4	5
⑧	「企業の社会的責任（CSR）」についての 「 第三者認証 」（注）	1	2	3	4	5
⑨	その他の「不可欠」な支援策、または「必要性が高い」支援策 （具体的に					）

（注）「第三者認証」とは、企業を始めとする組織が、JISやISOなどの規格に適合した活動（製造、サービスの提供、社内プロセス等）を行っているかどうかを、第三者である登録機関が審査・承認し対外的に証明すること。

自由記載欄

（貴社の「企業の社会的責任（CSR）」へのお取り組みやその成功談、あるいはCSRにお取り組みになれる上で東京商工会議所に期待する役割・支援策等をご自由にご記載下さい）

ご協力ありがとうございました。